



道元禅師観月の像

乗 雲

寺報
第122号
R5/9/1 発行

1985/4 創刊

〒959-2646 新潟県
胎内市西栄町2-8
TEL 0254-43-2419
FAX 0254-43-4560
編集人 広嚴寺
住職 神田英俊

メール
otera@kogonji.jp

「道元禅師観月の像」は福井県大野の宝慶寺に伝わる月を眺めているお姿です。禅師の「春は花、夏はとぎす、秋は月、冬雪さえてすずしかりけり」の句も有名です。また、中秋の名月を詠んだ和歌があります。『また見んと おもひしときの 秋たにも こよひの月にねられやはする』禅師は晩年重い病にかかり京都で治療に専念することになりその折りに詠まれた歌です。「もう今年の月は見ることができない」と思っていたが、再び美しい月を眺めることができた。今

かすかであるがゆえに
かえつて心にしみる
昼の月よ

坂村真民

月の美しい季節となりました。道元禅師も月をよくご覧になつておいででした。月にまつわる文章も沢山残しておられます。

宵は有り難くて寝られそうもない禅師が亡くなる一週間前の十五夜の月でした。今年の中秋の名月は九月二十九日、何と両祖様（道元禅師、瑩山禅師）のご命日と一緒の日となりました。

月で印象にあるのが表題の坂村真民さんの詩「昼の月」です。私はお月様が現れるとお月様が出たという。お月様が沈むとお月様が隠れてしまったという。新月の夜だったり、雲の中であつたりすれば見えないものです。しかし、お月様は決して消えて無くなつてしまつた訳ではありませんし、昼間でも見えないけれど出ています。確実に空のどこかにある。同じように亡くなられた人も見えないけれどもずっと私たちを見守ってくれているのです。真民さんは大切な母を亡くし、空に煌々と輝く月を見るたびに、昼間見えない時も微かに見える時もいつも見守つてくれているに違いないと母への思いを込めてこの詩を書きました。

秋から冬、澄んだ空に輝く月はとても綺麗です。それぞれの思いで月を眺めてみましょう。道元様も眺めたであろう有り難い月です。

▼令和五年度(2023)の年回忌表です。当寺では個人情報保護の観点から本堂には張り出ししていません。正当各家には昨年十一月中旬に通知していますのでご確認ください。

▼日曜・祝日のご法事の申し込みはお早めにお願いいたします。▼「周」は「めぐる」ことを意味する言葉で、亡くなつてからちょうど一周ぐりした翌年のその日を一周忌と呼ぶ。回忌とは亡くなられた日を最初の忌日と考えて、三回目の忌日が「三回忌」となる。以降は丸六年目が七回忌、丸十二年目が十三回忌となる。

令和五年 年回忌表

[回忌] [没年]

一周忌 令和四年
三回忌 令和三年

七回忌 平成二十九年
十三回忌 平成二十三年
十七回忌 平成十九年
二十三回忌 平成十三年
二十七回忌 平成九年
三十三回忌 平成三年
五十回忌 昭和四十九年
百回忌 大正十三年

大般若法要報告

六月十日午前十時より四年ぶりの大般若会を厳修いたしました。令和元年開催後、コロナ感染症になくされ、三年間の休みを経てこのたび無事にお勤めすることができました。随喜御寺院は二十五名。檀信徒お参りは四十名でした。



法要後のご法話は北信越管区布教師としてご活躍中の村上市羽黒町宝光寺住職丹羽直行老師にお願いをいたしました。老師は生まれでしたがご縁があつて同じく羽黒町の龍臥院丹羽正玄老師に弟子入りをし僧侶となりました。現在三十八歳、熱心に布教活動に

お寺の孫一人も初めてのことでの大興奮、般若の風にあたり健康成就を祈願いたしました。



この大法要は毎年六月十日に開催しています。コロナ感染症もようやく収束しつつあります。来年も皆様のご参集を心よりお待ち申し上げております。尚、祈願のお札は担当の役員様よりお届けとなります。

法要終了後はお寺で用意した粗飯、供菓、飲み物等をお持ち帰りいただきます。



取り組んでおられます。

大般若法会は大般若六百巻を大勢の御寺院様により転読し、世界平和、国家安泰、檀信徒皆様の家内安全、身体堅固、交通安全、諸難消滅、疫病退散、所願成就ならんことを祈願いたします。その後、先祖代々靈位のご供養法要、ご法話があります。法要終了後はお寺で用意した粗飯、供菓、飲み物等をお持ち帰りいただきます。

この大法要は毎年六月十日に開催しています。コロナ感染症もようやく収束しつつあります。来年も皆様のご参集を心よりお待ち申し上げております。尚、祈願のお札は担当の役員様よりお届けとなります。

五月二十二日新発田市上中山、清流寺二十世住職重興大安法道和尚（二瓶法道師）が遷化された。世寿七十歳。七月七日逮夜、八日本葬儀が十二教区寺院及び有縁関係寺院多数参列にて執り行われた。

秉炬師は大本山永平寺副貫首・群馬県沼田市迦葉山龍華院住職羽仁素道老師が務められた。法道師は昭和五十五年永平寺に安居され、送行後は迦葉山に典座（料理長）として務め、後、請われて永平寺の吉祥閣典座となり、参籠者をもてなす料理主任として七年の長きにわたり奉職された。当寺の毎年の大般若法要、平成二十五年の授戒会等、参拝者にお出しする料理の主任としても三十年以上務めてくだされた。二瓶老師の精進料理は最高でした。謹んでご冥福をお祈りいたします。



■訃報 清流寺二十世遷化

□月忌米・護持費納入のお願い

十一月中旬に担当役員さんより納付書をお届けいたしますので、金額を確認の上役員さん宅へ届けるか、直接お寺へお持ちください。また、納付書が郵送されている方は同封郵便振替用紙にてお振り込みいただか、お寺へお持ちになつても構いません。尚、ATMで現金で送金される場合には加算料金110円が必要となります。通帳よりの送金は無料です。振込手数料は従来どおり加入者（当寺）負担となっています。昨年までは振り込みが確認できましたら領収書を発行していましたが、今回より振替払込受領証をもつて領収書の替わりとさせていただきます。何卒よろしくお願ひいたします。

口來年度年回忌のご案内

十一月中旬に来年度年回忌に当たりられている各家にはそれぞれ郵送にてご案内通知を送付いたします。尚、十一月、十二月中の年忌について来年のことですのでお間違えのないようにお願いいたします。年忌読経供養につきましては日時を確認してお早めにお申し込みください。

工事及び境内整備

・墓地除草剤散布

五月中旬・七月上旬 高橋土建

・中庭桜枝折れ処理

六月一日 井上材木店

・墓地杉伐倒

五月二十四日～二十六日 井上材木店



□千眼寺大般若（住職神田秀孝師）

村上市平林千眼寺様では七月一日十八教区寺院及び関係寺院により従来どおりの大般若法要を厳修した。

□本寺開山忌

当寺の本寺である二十教区村上市門前・靈樹山耕雲寺（住職菊地光彥師・末寺門葉八百余ヶ寺）ではござ開山梅山聞本大和尚のご命日である九月七日に開山忌を厳修する。本年も昨年同様にコロナ感染症の影響を鑑み役寮のみにての法要が修行される。

■訃報 瑞雲寺三十四世遷化

六月十四日新発田市中央町、瑞雲寺前住職三十四世大法哲夫大和尚

（山口哲夫師）遷化された。世寿九十歳。本葬秉炬師は本寺同市寶光寺住職寺崎敬道師。謹んでご冥福をお祈りいたします。

■訃報 白蓮寺二十世遷化

六月二十日新発田市五十公野、白蓮寺住職二十世大圓信行大和尚（関根修行師）が遷化された。世寿七十

仏事の知識

忌日の数え方

葬儀後、初七日法要の日程は亡くなつた日を一日目として数えるので七日目が初七日となる。現在中陰（亡くなられてから七日ごと四十日まで）供養は正当日に行う場合が多いが、中国で成立した十王経によると七日ごとに十王による裁判を受け次の行く先が決まるときつて前晩に当日の裁判の印象をよくするための追善供養を行うこともされている。そのため「逮夜」といつて前晩に当日の裁判の印象をよくするための追善供養を行うこともあつた。

十王とは、初七日、二七日、三七日、四七日、五七日、六七日、七七日（四十九日・満中陰）、百ヶ日、一周忌、三回忌の節目に死者の生前のを行いを審判する十人の冥府の王をさす。なお、四十九日の日程は本来正当日に行うが、諸々の事情により六七日を過ぎた土曜、日曜に設定している。近年は四十九日法要に合わせて納骨することが多いが、葬儀後納骨した場合は毎日墓参りしてお線香、お口ウソク、お花を手向けて供養する。

私は、佛事の知識を学びたいと思います。

佛事の知識 ↓



雲泉寺通信（住職神田恭真師）

全体の復旧にはまだ数年がかかる
りますが、徐々に境内も内部も整
備されてきています。



月に遷化された二十八世片野徹榮大和尚の一周年忌法要が厳修された。また、六月十八日には十八教区護持会春季集会が雲泉寺を会場に開催され、御寺院、檀信徒六十名が参加した。この集会前までに昨年八月の下越水害で被害があつた宝宇（寺院控え室）が解体され広い駐車場として整備された。

雲泉寺本堂裏手の山の上には歴
住代々のお墓があるが、先住のお

墓も一周忌に合わせ建立された。



雲泉寺歷住墓所



二十八世墓所

▼下草火災発生
お寺からのお願い

寂光塔（永代供養墓地）

胎内市防災無線（西栄町地内下草
火災発生）でお知らせがあつたとおり、お盆の十三日午前八時二十分頃、参道脇のゴミの山が燃えていました。お参りの方が発見し消防署に連絡してくださいり、無事鎮火いたしました。今夏は毎日気温三十七度超えで、墓掃除で集められた枯れ草も乾燥しており、ちよつとした火（火の付いた線香、マツチの燃えかす等）でも大きな火災につながります。皆様のご協力で大事にはいたりませんでしたが、お参りには十分に火の元の危険をお願いします。



動物供養塔（ペットのお墓）

動物供養塔（ペ

動物供養塔 (ペツト墓地)



寂光塔（永代供養合同墓所）

